## 令和7年度 技術·家庭科 技術分野 2学年 評価規準

題材名	時数	学習活動・内容	題材のまとまりごとの評価規準
生物育成の技術	5. 5	・生物育成の技術の目的を知る。 ・作物の育成環境を調節する技術について知る。 ・動物・水産生物を健康に育てるための技術を知る。 ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について 考える。	・生物を育てる技術の目的について理解している。(知) ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。(態) ・作物の成長を管理、育成環境を調節する技術について理解している。(知) ・動物・水産生物を健康に育てるための技術について理解している。(知) ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に 気付くことができる。(思)
生物育成の技術による問題解決	4.5	計画を立てる。 ・作物やその品種に応じた育て方を調べ,成長の状態に 合わせて,適切な管理作業を行う。 ・管理作業の内容を,栽培記録表にまとめる。	・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。(思) ・植物の成長状態に合わせ、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。 (知) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ・育成の過程や結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思)
エネルギー変換の技術	4.5	<ul> <li>・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。</li> <li>・電源の種類と特徴についてまとめる。</li> <li>・電気エネルギーを利用する仕組みを知る。</li> <li>・電気を安全に使うための技術の工夫について知る。</li> <li>・電気機器の安全な使い方について考える。</li> <li>・電気機器を安全に利用するために保守点検が必要であることを知る。</li> </ul>	いる。(知) ・電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。(知) ・電気回路の仕組みについて理解している。(知) ・電気機器の安全な使い方について理解している。(知) ・機械の保守点検の方法を知り、工具を正しく使用することができる。(知)
エネルギー変換に関する 製作品の設計・製作	13	・生活や社会における光,熱,動力などのエネルギー変換の技術によって解決できる問題を見つける。 ・安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行う。	・製作に必要な工具を正しく用い、構想通りの加工ができる。(知) ・身の回りの問題を発見し、課題を設定する力を身に付けている。(思) ・製作の過程を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる。(思) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ・構想に基づいて、製作の計画通り進めようとしている。(態)

題材名	時数	学習活動・内容	題材のまとまりごとの評価規準
エネルギー変換の技術の 最適化	2	<ul><li>・エネルギー変換の技術のプラス面,マイナス面について考える。</li><li>・持続可能な社会の構築のために,これからのエネルギー変換の技術について考える。</li></ul>	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の
情報の技術の原理と仕組み	6	<ul> <li>・さまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。</li> <li>・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめる。</li> <li>・情報のデジタル化の方法,データ量の関係について知る。</li> <li>・情報通信ネットワークの仕組みについて知る。</li> </ul>	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。(知) ・情報通信ネットワークの構成について理解している。(知)

\* (知) …知識・技能 (思) …思考・判断・表現 (態) …主体的に学習に取り組む態度